

桶川市国民健康保険第3期 保健事業実施計画（データヘルス計画）

第4期 特定健康診査等実施計画

（概要版）

1 計画の基本的事項



○ 計画の趣旨

本計画は、健康・医療情報を活用してPDC Aサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画として策定し、保健事業の実施及び評価を行います。

計画期間は、令和6年度から令和11年度までの6年間です。

○ 目指す姿

本計画は、人生100年時代を迎える中で、誰もが地域において自分らしく、健康で安らかな暮らしができることを目指し、対象者の特性に応じた各種保健事業を実施することを定めています。

第2章 現状



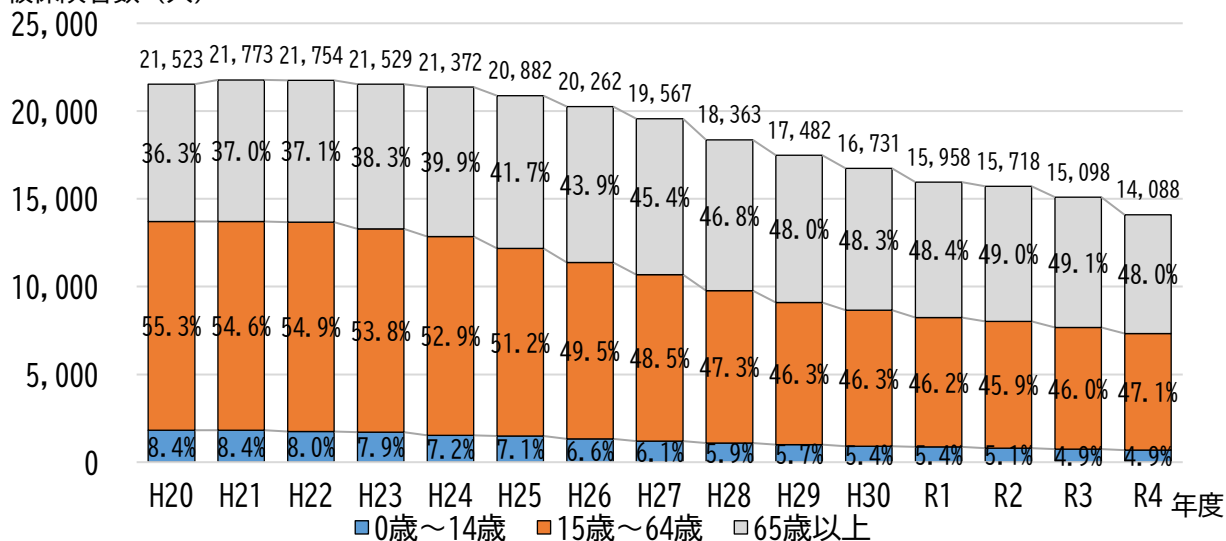
○ 桶川市の状況

本市の人口は、緩やかに減少していますが、老年人口（65歳以上）の人口は増加しており、令和5年4月1日時点で約3割となっています。

また、国民健康保険の被保険者数は、平成21年度末をピークに減少しており、約5割が65歳以上となっています。

年齢3区分別 国民健康保険被保険者数（各年度末現在）

被保険者数（人）



○ 前期計画の評価

前期計画（計画期間：平成30年度～令和5年度）において策定した目標等については、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、多くの項目で目標を達成することができませんでした。

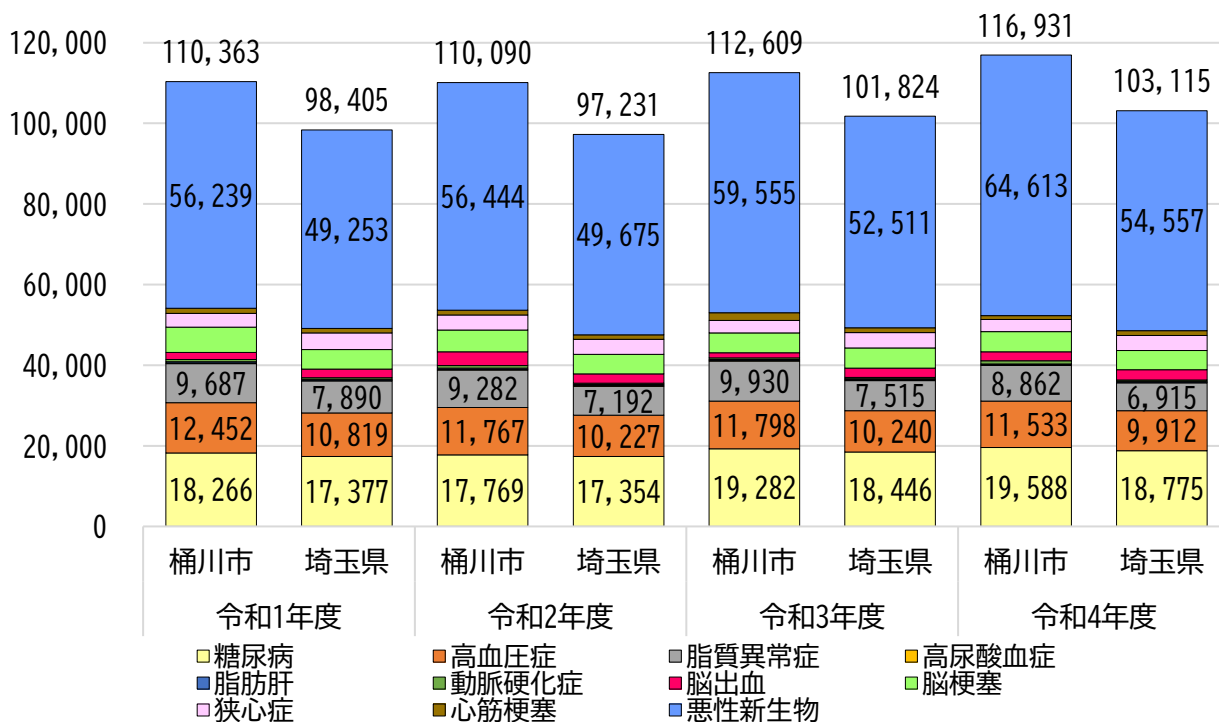
項目	区分	目標	結果	評価
特定健康 診査	中長期 目標	受診率60%	44.5%	×
		40歳代受診率25%	21.7%	×
		50歳代受診率30%	29.0%	×
	短期目標	各年度の受診率を2.5ポイント上げる	+0.3%	×
		40歳代50歳代の受診率を対前年比で1ポイント上げる	-0.6%	×
	特定健康診 査受診率向 上対策	40歳代・50歳代の勧奨後受診率30%	20.5%	×
広報誌、HP、ポスター等により周知		実施	○	
特定保健 指導	中長期 目標	受診率60%	12.3%	×
		予備群の割合を対平成30年度比で3ポイント減らす	+0.4%	×
	短期目標	各年度の実施率を2ポイント上げる	-0.1%	×
		各年度で予備群の割合を対前年度比で0.5ポイント減らす	+0.5%	×
	利用率向上 対策	電話勧奨数300世帯	未実施	×
生活習慣 病重症化 予防対策 事業	中長期 目標	保健指導実施者の人工透析移行者を減らす	0人	○
		受診勧奨を実施	64人	○
	短期目標	保健指導への参加者の増加	+3.8%	○
		保健指導修了者のうち継続支援参加者の増加	+19.2%	○
		医療機関への受診者の増加	±0人	×
	生活習慣病 重症化予防 事業	受診勧奨による新規受診者9人	9人	○
		保健指導者3人	9人	○
継続支援者8人		2人	×	
早期介入 保健指導 事業	中長期 目標	生活習慣病による医療費の抑制	増加	×
	短期目標	保健指導受講率20%	5.1%	×
		30代健診受診率30%	14.0%	×
	早期介入保 健指導事業	30代健診の受診率+1.5ポイント	-0.6%	×
		健康教室の受診率20%	5.1%	×

第3章 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

○ 医療費の分析

本市は糖尿病、高血圧症、脂質異常症及び悪性新生物の1人当たり医療費が高く、合計でも埼玉県と比較して高くなっています。

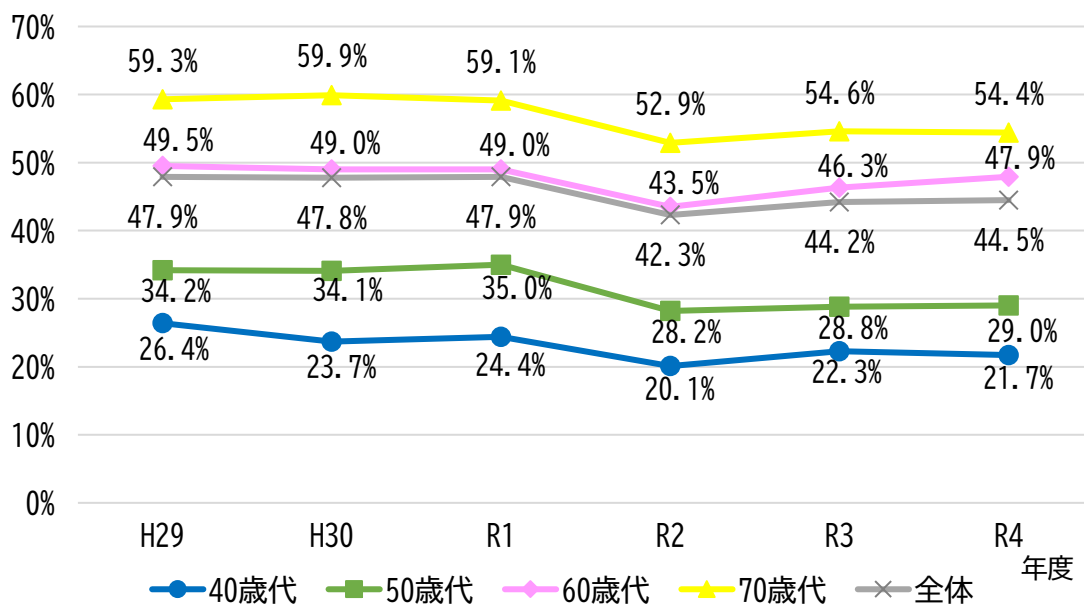
生活習慣病1人当たり医療費の推移 埼玉県平均との比較



○ 特定健康診査・特定保健指導の状況

特定健康診査の受診率を年齢階級別で見ると、年代が若いほど受診率が低い状況が続いています。

年齢階級別特定健康診査受診率の推移



○ 本市の健康課題

項目	本市の傾向・健康課題
平均寿命・平均自立期間・標準化死亡比	<ul style="list-style-type: none"> 平均寿命及び平均自立期間は、年々延伸している。 標準化死亡比（SMR）は、悪性新生物及び心疾患は県より低いが、脳血管疾患及び肺炎は高く、<u>上昇傾向にあるため、高血圧症等の生活習慣病予防や重症化を防ぐための取組を進める必要あり。</u>
医療費の分析	<ul style="list-style-type: none"> 1人当たり医療費は県平均より高く、生活習慣病の中では、糖尿病、高血圧症、脂質異常症及び悪性新生物の医療費が高い 大分類別医療費で最も高いのは悪性新生物で、次いで、循環器の疾患、筋骨格系の疾患と続く。 疾病分類別の医療費割合では、慢性腎臓病（透析あり）、糖尿病、高血圧症、関節疾患などが高い。 人工透析患者数の割合が、近年増加傾向。 ⇒ <u>生活習慣病予防及び重症化予防対策が必要。</u> 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の数量シェアは、かなり低い。 県平均に比べ、重複処方割合は低く、多剤処方割合は高い。 ⇒ <u>後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進や適正服薬の促進が必要。</u>
特定健康診査・特定保健指導	<ul style="list-style-type: none"> 本市は埼玉県と比較して、特定健康診査受診率が高く、特定保健指導実施率は低い状況で、いずれも目標の60%には達していない。 <u>40歳代・50歳代の受診率は20%台で、受診率の向上のための取組が必要。</u> 健診有所見率では、メタボ予備群、腹囲、血糖、血圧、脂質、血圧＋脂質が埼玉県平均よりも高く、<u>特定保健指導の実施率向上や生活習慣病予防のための取組が必要。</u> 質問票では、運動をしない者の割合が県より高く、<u>運動習慣の促進が必要。</u>また、咀嚼に支障がある者の割合も県より高く、<u>口腔機能の向上のための取組が必要。</u>
生活習慣病重症化予防対策	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導参加率が10%前後と低い。保健指導参加者のHbA1cは減少傾向にあり、<u>参加率の上昇が必要</u>である。
早期介入保健指導事業	<ul style="list-style-type: none"> 30代健診受診率は、13%～15%台で推移しており、受診率の上昇が必要である。
介護	<ul style="list-style-type: none"> 1件当たりの介護給付費は、国及び埼玉県より低いが、要介護認定率は年々上昇し、埼玉県平均を上回っており、<u>介護予防対策が重要</u> 介護認定者の有病割合は、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、心臓病及び脳疾患の割合が県より高く、<u>生活習慣病予防及び重症化予防対策が重要</u>である。

第4章 データヘルス計画（保健事業全体）の目的、目標、目標を達成するための個別保健事業



○ 計画全体における目的

健康・医療・介護の情報を活用するとともに、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を展開し、桶川市国民健康保険の被保険者の健康増進を図ることで、健康寿命の延伸及び医療費適正化を図ります。

指標		実績		目標値				
		R4	R6	R7	R8	R9	R10	R11
平均自立期間 (要介護2以上)	男性	80.4歳	延伸	延伸	延伸	延伸	延伸	延伸
	女性	84.1歳	延伸	延伸	延伸	延伸	延伸	延伸
生活習慣病1人当たり医療費		116,931円					県平均	

○ 計画全体の目的を達成するための目的、目標、関連する個別保健事業

目標	評価指標	実績		目標値				関連する 個別保健事業	
		R4	R6	R7	R8	R9	R10		R11
特定健康診 査受診率を 60%とする	特定健康診 査受診率	44.5%	49.3%	51.3%	53.3%	55.3%	57.3%	60.0%	特定健康診査 受診率向上対 策
特定保健指 導実施率を 60%とする	特定保健指 導実施率	11.7%	21.7%	26.7%	31.7%	36.7%	41.7%	60.0%	特定保健指導 実施率向上対 策
特定保健指 導によりメ タバコ対象 者を減らす	特定保健指 導による特 定保健指導 対象者の減 少率	27.8%	27.8%	27.8%	27.8%	27.8%	27.8%	27.8%	
血糖コント ロール不良 者の割合が 減少する	HbA1c8.0 % 以上の者の 割合	1.27%	減少	減少	減少	減少	減少	減少	糖尿病性腎症 重症化予防対 策事業
高血糖者の 割合を減ら す	高血糖者 (HbA1c6.5% 以上)の割合	9.1%	減少	減少	減少	減少	減少	減少	
糖尿病の未 治療者や治 療中断者を 減らす	HbA1c6.5 % 以上かつ糖 尿病レセプ トなしの者 の割合	17.1%	減少	減少	減少	減少	減少	減少	

第4章 データヘルス計画（保健事業全体）の目的、目標、目標を達成するための個別保健事業

目標	評価指標	実績							関連する 個別保健事業
		R4	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
保健指導判定値以上の割合を減らす	血圧が保健指導判定値以上の者の割合	53.3%	減少	減少	減少	減少	減少	減少	早期介入保健事業（健康教室）
【再掲】特定保健指導によりメタボ対象者を減らす	【再掲】特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	27.8%	27.8%	27.8%	27.8%	27.8%	27.8%	27.8%	特定保健指導実施率向上対策
後発医薬品（ジェネリック医薬品）の数量シェアを80%とする	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の数量シェア	78.3%	78.7%	79.0%	79.2%	79.5%	79.7%	80.0%	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進
重複服薬者数を減らす	重複服薬者の割合（翌年度4月診療分）	0.21%	減少	減少	減少	減少	減少	減少	適正服薬の促進
多剤服薬者数を減らす	多剤服薬者の割合（翌年度4月診療分）	3.47%	減少	減少	減少	減少	減少	減少	
咀嚼困難者を減らす。	特定健康診査質問票で、咀嚼（ほとんどかめない・かみにくい）と回答した者の割合	21.0%	20.5%	20.2%	19.9%	19.6%	19.3%	19.0%	地域包括ケア及び高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する取組

第5章 特定健康診査・特定保健指導の実施



○ 達成しようとする目標

項目	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【再掲】特定健康診査受診率	49.3%	51.3%	53.3%	55.3%	57.3%	60.0%
【再掲】特定保健指導実施率	21.7%	26.7%	31.7%	36.7%	41.7%	60.0%

○ 特定健康診査等の対象見込者数

(1) 特定健康診査

項目	R6	R7	R8	R9	R10	R11
対象見込者数	9,644人	9,355人	9,074人	8,802人	8,538人	8,282人
受診者数	4,755人	4,800人	4,837人	4,868人	4,893人	4,970人

(2) 特定保健指導

項目	R6	R7	R8	R9	R10	R11
対象見込者数	500人	493人	486人	479人	472人	465人
実施者数	109人	132人	155人	176人	197人	279人

第6章 健康課題を解決するための個別の保健事業



○ 特定健康診査受診率向上対策

項目	指標	現状値 (R4)	目標値					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
アウトカム	【再掲】特定健康診査受診率	44.5%	49.3%	51.3%	53.3%	55.3%	57.3%	60.0%
	40歳代及び50歳代への勧奨後の特定健康診査受診率	20.5%	21.5%	22.0%	22.5%	23.0%	23.5%	24.0%
アウトプット	受診勧奨通知率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
プロセス	桶川北本伊奈地区医師会との調整・契約 介護担当課及び保健衛生担当課との調整							
ストラクチャー	予算の確保							

○ 特定保健指導・特定保健指導実施率向上対策

項目	指標	現状値 (R4)	目標値					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
アウトカム	【再掲】特定保健指導実施率	11.7%	21.7%	26.7%	31.7%	36.7%	41.7%	60.0%
	【再掲】特定保健指導に特定保健指導対象者の減少率	27.8%	27.8%	27.8%	27.8%	27.8%	27.8%	27.8%
アウトプット	利用勧奨通知率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

プロセス	特定保健指導実施事業者と利用しやすい環境づくりの調整 利用者増が見込める利用案内等の紙面の工夫 オンラインでの利用の推進
ストラクチャー	事業委託による専門職（保健師、管理栄養士）の確保 健診実施医療機関との連携

○ 糖尿病性腎症重症化予防対策事業

項目	指標	現状値 (R4)	目標値					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
アウトカム	【再掲】HbA1c8.0%以上の者の割合	1.27%	減少	減少	減少	減少	減少	減少
	【再掲】高血糖者(HbA1c6.5%以上)の割合	9.1%	減少	減少	減少	減少	減少	減少
	【再掲】HbA1c6.5%以上かつ糖尿病レセプトなしの者の割合	17.1%	減少	減少	減少	減少	減少	減少
	受診勧奨者のうち医療機関受診者の割合	15.3%	17.0%	18.0%	19.0%	20.0%	21.0%	22.0%
	保健指導参加者のHbA1c改善率	66.7%	67.5%	68.0%	68.5%	69.0%	69.5%	70.0%
アウトプット	受診勧奨通知率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	保健指導の参加率	11.1%	12.2%	12.7%	13.3%	13.8%	14.4%	15.0%
プロセス	国保連合会との共同事業として実施 市内医療機関への事業の周知と連携							
ストラクチャー	予算の確保、かかりつけ医との協力体制の確保							

○ 早期介入保健指導事業

(1) 30代健診

項目	指標	現状値 (R4)	目標値					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
アウトカム	30代健診後フォローアップ利用率	12.5%	17.5%	20.0%	22.5%	25.0%	27.5%	30.0%
アウトプット	30代健診受診率(国保被保険者)	14.0%	18.0%	20.0%	22.0%	24.0%	26.0%	28.0%
プロセス	保健衛生担当課と共同実施 子育て中の被保険者を考慮し、預かり保育ができる環境を整える							
ストラクチャー	予算の確保、保健衛生担当課、委託事業者との連携							

(2) 健康教室

項目	指標	現状値 (R4)	目標値					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
アウトカム	【再掲】血圧が保健指導判定値以上の者の割合	53.3%	減少	減少	減少	減少	減少	減少
アウトプット	健康教室参加者数	12人	14人	15人	16人	17人	18人	20人
プロセス	保健衛生担当課との連携 講習内容の検討							
ストラクチャー	予算の確保、保健衛生担当課との連携							

○ 医療費適正化

(1) 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進

項目	指標	現状値 (R4)	目標値					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
アウトカム	【再掲】後発医薬品（ジェネリック医薬品）の数量シェア	78.3%	78.7%	79.0%	79.2%	79.5%	79.7%	80.0%
アウトプット	後発医薬品（ジェネリック医薬品）差額通知発送数	114通	減少	減少	減少	減少	減少	減少
プロセス	医師会・薬剤師会との打ち合わせ							
ストラクチャー	予算の確保							

(2) 適正服薬の促進

項目	指標	現状値 (R4)	目標値					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
アウトカム	【再掲】重複服薬者の割合（翌年度4月診療分）	0.21%	減少	減少	減少	減少	減少	減少
	【再掲】多剤服薬者の割合（翌年度4月診療分）	3.47%	減少	減少	減少	減少	減少	減少
	通知後改善した割合（重複服薬・多剤服薬）	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトプット	服薬指導実施者への通知（重複服薬・多剤服薬）	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
プロセス	医師会・薬剤師会との打ち合わせ							
ストラクチャー	予算の確保							

○ 地域包括ケア及び高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する取組

項目	指標	現状値 (R4)	目標値					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
アウトカム	【再掲】特定健康診査質問票で、咀嚼（ほとんどかめない・かみにくい）と回答した者の割合	21.0%	20.5%	20.2%	19.9%	19.6%	19.3%	19.0%
	【再掲】HbA1c8.0%以上の割合	1.27%	減少	減少	減少	減少	減少	減少
	【再掲】血圧保健指導判定値以上の者の割合☆	53.3%	減少	減少	減少	減少	減少	減少
アウトプット	一体的実施事業（ポピュレーションアプローチ）の実施回数	29回	30回	30回	30回	30回	30回	30回
	【再掲】服薬指導実施者への通知（重複服薬・多剤服薬）	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア推進協議会に国保担当課として参画、地域の課題を共有、対応策を検討 ・国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険データ等の総合的な分析を実施 							
ストラクチャー	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の確保 ・介護担当課、保健衛生担当課との連携 							

第7章 その他



本計画は、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、中間年度となる令和8年度に中間評価を実施します。

目標の達成状況が想定に達していない場合は、達成できなかった原因や事業の必要性等を検討し、必要に応じて本計画の見直しを行います。

最終評価については、計画期間の最終年度となる令和11年度に実施します。

更に、事業運営の健全化を図る観点から、毎年度、桶川市国民健康保険事業の運営に関する協議会に、本計画に基づく各種事業の実施状況について報告します。